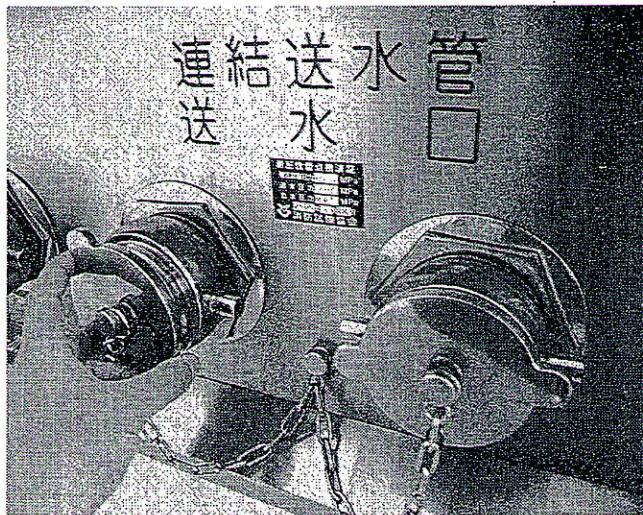


高層火災の「生命線」部品

消火栓盗相次ぐ

福岡、北九州両市のマンションなど計四十カ所で、消防用の「連結送水管」の金属部品が相次いでなくなっているのが見つかった。いずれも転売目的の窃盗事件とみられるという。

連結送水管は高層の建築物などへの設置が義務付けられているもので、この部品がないとホースを接続できず、消火作業に大きな支障が出る。マ



福岡などで窃盗被害が相次いでいる連結送水管。消火作業に不可欠な部品なのに…

ンシヨンのほか病院やスパーも被害に遭っており、人命にかかわる恐れもある。

一連の「消火栓盗」は、今月十一日、福岡県直方市で連結送水管の部品五十七個がなくなった事件を受けて、福岡、北九州の両市消防局が緊急調査に乗り出し確認された。

調査の結果、福岡市では、中央区の雑居ビルなど十五カ所で連結送水管のステンレス製のふた三十個とリング状のホース接続部分（直径十数センチ、厚さ数センチ）がなくなっていたことが判明。

北九州市でも、門司区や若松区内など二十五カ所で計七十二個の部品がなくなっているのが確認

福岡 マンションや病院など被害

された。中には、入院患者がいる病院や不特定多数の買い物客が出入りするスパーもあり、火災が起きれば惨事につながりかねない状態だったという。

このほか同県内では、宗像市の共同住宅一カ所で部品十二個が、古賀市の集合住宅でも送水口と放水口の部品計二個がなくなっていたという。

連結送水管は、消防法で七階建て以上の高層建築物などへの設置が義務付けられている。一階の屋外にある送水口にポンプ車などのホースをつなぎ、各階に水を送る仕組みで、高層階の消火作業には欠かせない。両市の消防局ではビルなどの関係者に注意を呼び掛けている。

送水管の接続部分はステンレスや真ちゅう製で、新品の価格は一個三万五千円程度。